

2023 年度 授業評価アンケート

1. 授業評価アンケートについて
2. 授業評価アンケートの実施方法・回答結果について
 - (1) 実施方法
 - (2) 各教員宛通知内容
 - (3) 授業アンケート結果
 - ①-1 前期授業評価アンケート結果 (1 学年)
 - ①-2 後期授業評価アンケート結果 (1 学年)
 - ②-1 前期授業評価アンケート結果 (2 学年)
 - ②-2 後期授業評価アンケート結果 (2 学年)

1. 授業評価アンケートについて

本学では、授業内容や教育方法の改善における組織的活動の一環として、学生に対する授業評価アンケートを年2回(前期・後期)実施し、その結果を公表することになりました。各担当教員は、アンケート結果を真摯に受け止め、今後の授業改善に役立てています。

つきましては、今回実施した標記アンケートの結果について公表します。

2. 授業評価アンケートの実施方法・回答結果について

(1) 実施方法

本学では、前期、後期の2回授業アンケートを実施しています。

①前期授業評価アンケートでは、2023年4月3日～2023年7月14日(9月を除く)まで前期授業を開講後、定期試験を実施し、定期試験終了後にアンケートを実施しました。後期授業アンケートでは、2023年10月2日～2024年1月19日まで後期授業を開講後、定期試験を実施し、定期試験終了後にアンケートを実施しました。この授業評価アンケートでは、本学1学年、2学年の学生を対象に実施しました。アンケートは無記名回答とし、学生がアンケート用紙に記入しました。

2023年度前期 学生による授業評価 (1学年)	
このアンケートは、「学生による授業評価」に関する内容です。 以下の①～③の質問項目に該当する科目5つに○をつけて下さい。	
① 特に理解度の高かった科目を5つ挙げなさい。	以下の項目について、チェックおよび具体的な意見を述べて下さい。
② 特に興味深かった科目を5つ挙げなさい。	①本年度前期は、新型コロナウイルス感染症拡大の心配もありましたが、学生皆さんの感染対策への対応が良かった
③ 特に難度の高かった科目を5つ挙げなさい。) 良くなかった
基礎分野 スポーツ科学概 医学用 運動心理 社会活動概 解剖学 解剖学 専門生 理運動学 基礎 運動発達 解剖学 分野 リハビリテーション概 チーム医療概 理学療法評価概) 利用しなかった
※前期科目の中で終了していない科目は、後期に確認します) 良くなかった
※授業以外の学院生活について、(教務部)	
(事務部)	

見本に示します通り、各学年前期／後期に開講された授業科目全体を示し、①理解度の高かった科目、②興味深かった科目、③難度が高かった科目について、それぞれに該当する科目を5つに○をつけてもらう事としました。

また、講義の感想、意見、要望、試験対策期間の夜間開放、学習サポート制度等について、自由記載による回答としました。

(2) 各教員宛通知内容

各教員は、自分が担当する授業アンケートの結果について、全ての内容を確認します。

(3)

①-1 前期授業評価アンケート結果（1学年）

前期1学年のアンケート調査は、対象25名に対し、前期試験終了後に実施しました。

【前期13科目について】

		開講 時期	授業内容		
			①理解度	②興味	③難度
基礎 分野	スポーツ科学概論	前期	14	15	3
	医学用語	前期	21	9	1
	運動心理学	前期	5	10	4
	社会活動概論	前期	6	6	1
専門 基礎 分野	解剖学Ⅰ	前期	9	3	15
	解剖学Ⅲ	前期	3	7	22
	生理学Ⅰ	前期	6	8	13
	運動学Ⅰ	前期	13	12	8
	運動発達学	前期	9	11	10
	解剖学演習	前期	11	14	19
	リハビリテーション概論	前期	11	11	12
	チーム医療概論	前期	9	11	3
	理学療法評価概論	前期	2	3	21

理解度の高かった科目は、医学用語、運動学Ⅰ、スポーツ科学概論でした。

興味深かった科目は、スポーツ科学概論、運動学Ⅰ、運動発達学、リハビリ概論、チーム医療概論でした。

難度の高かった科目は、解剖学Ⅲ、理学療法評価概論、解剖学演習でした。

【自由意見について】

前期の授業内容、試験対策期間の夜間開放、学習サポート制度、またオンライン型授業について調査しました。

【前期授業内容についての集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(72%) ・どちらともいえない(24%) ・良くなかった(4%)】

・高校とは違い、最初は戸惑いもあり、勉強内容も難しかったようですが、質問しやすい環境等に少しずつ慣れたようです。また、実習等もあり、全体的に肯定的な意見が多かったです。

・授業について、グループやペアワーク等、学生同士で交流しながら取り組み、授業態度等反省する意見もありました。

【試験期間の夜間開放の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(56%) ・どちらともいえない(8%) ・利用しなかった(36%)】

・約半数以上の学生が夜間開放時間を利用し前期試験対策として学内を利用しており、利用学生の満足度は高かったです。

・自宅では集中できず学校では集中でき、先生にも質問しやすくなど肯定的な意見が多かったです。同時に、1人暮らしの学生より、電気代の節約になり、ありがたい等の意見もありました。

・反面、どちらともいえない学生が約4割で、自宅等で学習した学生がいるという結果となりましたが、次回からは利用したいなどの意見もありました。

【教員による学習サポート制度の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(64%) ・どちらともいえない(32%) ・良くなかった(0%)・無記入(4%)】

・担当教員が勉強の仕方や取り組む時期やスケジュール管理方法やわからない内容について丁寧に指導して下さり、理解度が高まり、やる気が出た等、学習サポート制度を肯定的に捉えている学生が6割いました。一部の学生で、結果が出ないものもあったとの意見もありました。

・反面、どちらともいえない学生が約3割おり、制度を利用しなかった学生もいました。

【前期を通して、教務部・事務部への意見など自由記載のまとめ】

・生徒の事をよく考え、奨学金の事等、とても親身になり考えてくれた事に感謝する意見がありました。

①-2 後期授業評価アンケート結果（1 学年）

後期 1 学年のアンケート調査は、22 名に対し、後期試験終了後に実施しました。2

【後期 20 科目について】

		開講	授業内容		
		時期	①理解度	②興味	③難度
基礎分野	身体哲学概論	通年	0	3	8
	脳科学概論	後期	6	11	3
	医学英語	後期	15	7	3
	発達心理学	後期	1	3	8
	人間発達学	後期	4	10	8
	日常生活動作概論	後期	6	4	0
	保健体育	通年	14	11	2
専門基礎分野	解剖学Ⅱ	後期	5	3	2
	解剖学Ⅳ	後期	5	3	3
	生理学Ⅱ	後期	7	5	3
	運動学Ⅱ	後期	1	2	5
	病理学概論	通年	8	6	3
	解剖生理学演習	通年	1	6	10
	リハビリテーション医学	後期	9	3	1
専門分野	運動療法概論	通年	4	4	6
	物理療法概論	後期	4	7	7
	理学療法評価学Ⅰ	後期	1	4	10
	理学療法評価学Ⅱ	通年	1	4	9
	理学療法評価学Ⅲ	後期	6	1	5
	障害者スポーツ学	通年	8	10	0

・理解度の高かった科目は、医学英語、保健体育、リハビリテーション医学、病理学概論、障害者スポーツ学でした。

・興味深かった科目は、脳科学概論、保健体育、人間発達学、障害者スポーツ学、医学英語、物理療法概論でした。

・難度の高かった科目は、解剖生理学演習、理学療法評価学Ⅰ、理学療法評価学Ⅱ、身体哲学概論、病理学概論、物理療法概論、理学療法評価学Ⅱ、発達心理学、人間発達学でした。

【自由意見について】

後期の授業内容、試験対策期間の夜間開放、学習サポート制度、臨床見学実習(医療施設)、特に印象に残っている講義や実習について調査しました。

【後期を通して、講義の感想および意見など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(59%) ・どちらともいえない(41%) ・良くなかった(0)】

・前期に比べて、授業内容の難度も高くなり理解する事に時間がかかったが、分かりやすい授業もあったようです。

【試験期間の夜間開放の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(64%) ・どちらともいえない(36%) ・良くなかった(0)】

・全体の 6 割の学生が夜間開放時間を利用し後期試験対策として学内を利用しており、自宅より効率的など肯定的な意見がありました。

・どちらともいえないと回答した学生達は、自宅学習など学校を利用していないという意見が多かったです。

【教員による学習サポート制度の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(86%) ・どちらともいえない(14%) ・良くなかった(6)】

・全体の約 9 割弱の学生が、学習サポート制度を利用しており、分かりやすい指導で学習効率が上がり、困った時にすぐに聞ける体制など肯定的に捉えていました。

・どちらともいえない学生は、指導を受けてない学生や継続できなかった学生でした。

【臨床見学実習についての集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(82%) ・どちらともいえない(14%) ・良くなかった(4)】

・臨床見学実習について、約 8 割の学生が、肯定的に捉えていました。

具体的な意見では、授業で学んだことが実際の臨床で見学でき、患者対応の難しさを体験し、学内で学んでない事も学べて良かった等の意見がありました。

・その他、臨床見学の視点の難しさを感じ、実習態度等普段自分自身が意識してない事への指摘などもあり、様々な側面への振り返りにもなったようでした。

【特に印象に残っている講義や実習について自由記載のまとめ】

・講義では、人間発達学、子供のリハビリに関する内容でした。

・実習では、解剖見学実習でした。

②-1 前期授業評価アンケート結果（2 学年）

前期 2 学年のアンケート調査は、対象 17 名に対し、前期試験終了後に実施しました。

【前期 17 科目について】

		開講 時期	授業内容		
			①理解度	②興味	③難度
専門 基礎 分野	生 理 学 III	前期	9	6	0
	運 動 学 III	前期	0	7	14
	運 動 学 IV	前期	4	8	6
	リハビリ内科学（柿沼・砥谷・廣瀬・大西）	前期	1	1	6
	リハビリ整形外科（沖田・榎本・池田）	前期	2	3	7
	リハビリ栄養・薬理学（小野・大坪・高橋）	前期	5	4	0
	老 年 病 学	前期	4	7	2
専門 分野	理 学 療 法 評 価 学 IV	前期	11	4	0
	関節機能障害理学療法学（宮内・薦田）	前期	6	7	4
	一 般 外 傷 理 学 療 法 学	前期	3	6	9
	脳 障 害 理 学 療 法 学 I	前期	1	5	17
	呼 吸 器 障 害 理 学 療 法 学	前期	4	2	8
	循 環 器 障 害 理 学 療 法 学	前期	2	3	6
	物 理 療 法 学	前期	9	7	1
	装 具 学	前期	8	4	2
	日 常 生 活 動 作 学	前期	8	6	3
地 域 リ ハ ビ リ 学 I	前期	4	4	0	

・理解度の高かった科目は、理学療法評価学IV、生理学III、物理療法学、装具学、日常生活動作学でした。

・興味深かった科目は、運動学IV、運動学III、老年病学、関節機能障害理学療法学、物理療法学でした。

・難度の高かった科目は、脳障害理学療法学 I、運動学III、一般外傷理学療法学、呼吸器障害理学療法学でした。

【自由意見について】

前期の授業内容、試験対策期間の夜間開放、学習サポート制度、またオンライン型授業について調査しました。

【前期授業内容についての集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(94%) ・どちらともいえない(6%) ・良くなかった(0%)】

・授業が過密な時もあり、難度が上がって大変な面もあったが、専門的な知識が増えていく事の喜びもあり、授業全体が面白く、楽しかった等、大変な中でも充実感があったという意見が多かったです。

・授業内容によっては、難度に差がありテスト対策が大変だったという意見もありました。

【試験期間の夜間開放の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(88%) ・どちらともいえない(6%) ・利用しなかった(6%)】

・全体の約 9 割弱の学生が夜間開放時間を利用し前期試験対策として学内を利用しており、利用学生の満足度は高かったです。

・具体的には、家では集中できず、周囲に勉強している人がいて取り組みやすかった等の意見が多かったです。

・また、夏場は特にエアコンの効いている学校で集中できて良かったという意見もありました。

・どちらとも言えない学生は、利用しなかった学生でした。

【教員による学習サポート制度の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

【結果集計 ・良かった(88%) ・どちらともいえない(12%) ・良くなかった(0)】

・わからない内容について、とことん教えて下さり、学生時代の暗記方法などわかりやすいアドバイスがあった事、勉強の進捗状況のチェック等、全体の約 9 割弱の学生が、肯定的に捉えていました。

・適度な距離や期間で丁度よかったが、もう少し自分から取り組んだら良かったかと後悔しているなどの意見もありました。

【前期を通して、教務部・事務部への意見など自由記載のまとめ】

・教務部には、学習サポート、学生への丁寧で優しい対応等への感謝の意見がありました。

・事務部には、困った際の対応や色々話を聞いてくれる事への感謝の意見がありました。

・食サポを増やしてほしいなどの要望もありました。

②-2 後期授業評価アンケート結果（2 学年）

後期 2 学年のアンケート調査は、対象 16 名に対し、後期試験終了後に実施し、14 名の回答でした。

【後期 19 科目について】

		開講 時期	授業内容		
			①理解度	②興味	③難度
専門 基礎 分野	生 理 学 IV	後期	4	0	1
	リ ハ ビ リ 神 経 学	通年	3	5	8
	救 命 救 急 ・ リ ス ク 管 理 学	通年	4	2	1
	精 神 医 学	後期	4	5	0
	運 動 学 演 習	後期	1	7	8
専門 分野	理 学 療 法 基 礎 セ ミ ナ ー I	通年	3	2	3
	理 学 療 法 評 価 学 V	通年	4	3	8
	理 学 療 法 評 価 学 演 習	後期	1	1	1
	ス ポ ー ツ 外 傷 理 学 療 法 学	通年	3	4	0
	末 梢 神 経 障 害 理 学 療 法 学	通年	4	4	5
	脊 髄 障 害 理 学 療 法 学	後期	4	7	11
	脳 障 害 理 学 療 法 学 II	後期	3	4	5
	脳 障 害 理 学 療 法 学 III	後期	3	5	3
	小 児 理 学 療 法 学	後期	2	3	5
	義 肢 学	後期	2	1	5
	運 動 療 法 技 術 学	通年	13	10	0
	認 知 神 経 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 学	後期	2	3	6
	地 域 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 学 II	後期	4	3	0
	生 活 環 境 論	通年	5	1	0

・理解度の高かった科目は、運動療法技術学、生活環境論、生理学IV、救命救急・リスク額、精神医学等でした。

・興味深かった科目は、運動療法技術学、運動学演習、脊髄障害理学療法学、リハビリ神経学、精神医学等でした。

・難度の高かった科目は、脊髄障害理学療法学、運動学演習、理学療法評価学V、認知神経リハビリ学でした。

【自由意見について】

後期の授業内容、試験対策期間の夜間開放、学習サポート制度、臨床評価実習II、特に印象が残っている講義や実習について調査しました。

【後期を通して、講義の感想および意見など自由記載のまとめ】

- ・難しい教科も多く、より専門的な科目となりましたが、興味深い内容や実習で必要な知識などを学ぶ事ができたという意見がありました。
- ・反面、内容が難しい科目は苦手意識の高まりや複数担当科目のテスト対策の大変さなどを感じる学生もいました。

【試験期間の夜間開放の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

- ・自宅よりも集中して取り組むことができ、質問しやすい環境が良かったという意見が多かったです。また、自分が勉強しやすいタイミングで利用でき、夜間まで学校が開いていると、とても助かるという意見がありました。

【教員による学習サポート制度の集計結果および感想など自由記載のまとめ】

- ・グループで授業内容の確認や個人別の指導など、学生に合わせた指導で良かったという意見が多くありました。また、教員からのサポートを待つのではなく、自分から積極的に動くよいきっかけにもなったという意見がありました。

【臨床評価実習Ⅱについての集計結果および感想など自由記載のまとめ】

- ・2週間の中で、前回の実習よりも実際の評価や治療など体験し、知識不足や色々な気づきから今後への気持ちを持つことができ、また、様々な指導者から意見を聞く事ができ、とても有意義な期間だったという意見が多かったです。